

＝インクルーシブ教育(支援児包容教育) 推進たじみプラン＝

『みんなを支援！ みんなで支援！』

第2期 推進構想
平成27～29年度

めざす方向

障がいの有無及び程度に応じ、学びの場を分けるのではなく、同じ学びの場において共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的支援を必要とする子どもに最も確かな指導を行う教育

みんなが伸びる みんなと伸びる 自立を支援する教育の推進

自立を支援するための園・学校力の向上

基本施策3

「教職員の専門性の向上を図る研修の充実」

- ①発達障がいに関する教職員の専門性向上
- ②特別支援学校免許状の取得の推奨
- ③特別支援教育コーディネーターの専門性の向上

基本施策4

「就学先決定の仕組みの見直しと支援の充実」

- ①就学先決定の仕組みの見直し
- ②早期からの教育相談・支援の充実

基本施策5

「園・学校経営の改善」

- ①居住地校交流の取組の推進
- ②園や学校の施設、環境のバリアフリー化

一人一人の教育的ニーズへの対応

基本施策1

「一人一人の教育的ニーズを把握し、それに応じた指導・援助の充実」

- ①ユニバーサルデザインの授業づくりの推進
(「分かる」「できる」授業づくり)
- ②個の教育的ニーズに応じた適切な変更・調整
(「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」)
- ③タブレット端末を活用した発達障がいの可能性のある児童生徒への支援の工夫

基本施策2

「多様な学びの場の整備と関係機関の連携」

- ①支援の連続を図る関係機関の連携の充実
- ②キキョウスタッフ(支援員)の効果的な配置と研修
- ③多様な学びの場の整備の推進
- ④交流及び共同学習の推進

より適切な支援をするための諸機関との連携の強化

基本施策6

「諸機関との連携の強化」

- ①園と学校における外部機関との連携の強化
- ②発達支援センターの幼稚園・保育園との連携の充実

多治見市の現状と課題

- ①特別な支援を要する子どもの割合が増加傾向にある。
- ②一人一人の教育的ニーズに応じた支援をより充実させる必要がある。
- ③教職員等の専門性の向上など、園や学校が子どもの自立を支援するための支援体制を強化する必要がある。
- ④より適切な支援をするために、諸機関の連携を強化していく必要がある。

★保健、福祉、医療と教育との連携

インクルーシブ教育推進委員会(委員:15名)

[事務局] ○教育相談室 教育研究所 教育推進課 子ども支援課 保健センター 福祉課

